

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月15日

上場会社名 株式会社アップルパーク 上場取引所 東
コード番号 164A URL https://www.applepark.jp/
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山中 直樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 上野 篤資 TEL03（3901）6199
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日
発行情報提出予定日 2024年6月28日
決算補足説明資料作成の有無： 無
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期の業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	5,070	10.2	588	31.2	601	31.9	386	38.5
2023年3月期	4,601	16.9	448	92.6	455	98.5	279	136.7

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	320.71	-	52.3	16.7	11.6
2023年3月期	348.24	209.36	62.6	14.2	9.7

（参考）持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

（注）1 当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2 2024年3月期においては潜在株式が存在しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	3,873	933	24.1	699.92
2023年3月期	3,340	546	16.4	681.09

（参考）自己資本 2024年3月期 933 百万円 2023年3月期 546 百万円

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	686	△343	126	1,987
2023年3月期	724	△286	△258	1,518

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	中間	期末	合計			
2023年3月期	円 銭 124,688.28	円 銭 0.00	円 銭 124,688.28	百万円 50	% 17.9	% 11.2
2024年3月期	0.00	37.48	37.48	50	11.7	5.4
2025年3月期 (予想)	0.00	37.48	37.48	-	-	-

（注）当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期については当該株式分割前の配当金の額を記載し、2024年3月期については分割後の配当金の額を記載しております。

3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,678	12.0	445	△24.2	513	△14.6	309	△19.9	232.13

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	1,334,000 株	2023年3月期	802,000 株
② 期末自己株式数	2024年3月期	- 株	2023年3月期	- 株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	1,206,087 株	2023年3月期	802,000 株

（注）当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数（自己株式を含む）」「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等)	10
(持分法損益等)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）におけるわが国経済は、景気はこのところ足踏みもみられますが、企業の設備投資、雇用環境、所得環境は改善が見られ、経済活動は緩やかに回復を続けております。一方で、物価高や為替の変動などによる個人の消費需要減退の懸念や、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢などの地政学的リスクなど、依然として景気の下振れ要因が存在し先行き不透明な状況が続いております。

駐車場業界においては、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類に移行された影響で観光需要の回復もあり売上高はコロナ禍に比較して全国的に増加しました。駐車場・駐輪場の開設も前事業年度を上回る水準で進み、開設件数は前年同期比 3.5%増となりました。当事業年度においては、駐車場・駐輪場の売上高は、事業地毎に採算のバラつきはあるものの概ね前事業年度を上回り好調に推移しました。

このような状況のもと、当社は、積極的な営業活動により事業地数を増やすとともに、広告費を増額し新規事業地及び駐車場・駐輪場利用者の獲得にも努めました。新規の駐車場・駐輪場においては、コロナ禍において採用した、従前よりも採算性が高い開設基準での開設を引き続き行ない、利益率の向上に寄与しました。また、既存の駐車場・駐輪場については収益改善施策の実施を継続的に行なうことで採算性の向上に努めました。

以上の結果、売上高は 5,070,445 千円（前年同期比 10.2%増）、営業利益は 588,330 千円（前年同期比 31.2%増）、経常利益は 601,459 千円（前年同期比 31.9%増）、当期純利益は 386,799 千円（前年同期比 38.5%増）となりました。

なお、当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関する事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産の部)

当事業年度末における流動資産は2,700,010千円となり、前事業年度末に比べ564,586千円増加しました。主な要因は、現金及び預金が504,668千円、前払費用が30,011千円、売掛金が33,738千円増加したことによるものであります。固定資産は1,173,634千円となり、前事業年度末に比べ31,307千円減少しました。主な要因は、構築物が5,986千円、建物が7,889千円増加した一方で、リース資産が56,611千円減少したことによるものであります。この結果、総資産は3,873,644千円となり、前事業年度末に比べ533,279千円増加しました。

(負債の部)

当事業年度末における流動負債は1,299,816千円となり、前事業年度末に比べ19,662千円減少しました。主な要因は、未払法人税等が93,848千円、リース債務が39,719千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が102,997千円、買掛金が47,155千円増加したことによるものであります。固定負債は1,640,133千円となり、前事業年度末に比べ126,160千円増加しました。主な要因は、長期借入金が142,059千円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は2,939,950千円となり、前事業年度末に比べ145,823千円増加しました。

(純資産の部)

当事業年度末における純資産合計は933,694千円となり、前事業年度末に比べ387,456千円増加しました。主な要因は、当期純利益の計上により利益剰余金が386,799千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ469,668千円増加し、1,987,869千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動の結果、獲得した資金は686,927千円（前事業年度は724,016千円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額が259,534千円あった一方で、税金等調整前当期純利益が561,470千円、減価償却費が251,750千円、固定資産除却損が96,645千円、減損損失が39,988千円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動の結果、支出した資金は343,468千円（前事業年度は286,188千円の支出）となりまし

た。これは主に、定期預金の払戻による収入が168,000千円あった一方で、有形固定資産の取得による支出が248,669千円、定期預金の預入による支出が209,000千円、保険積立金の積立による支出が30,938千円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動の結果、獲得した資金は126,209千円（前事業年度は258,087千円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入が900,000千円あった一方で、長期借入金の返済による支出が654,944千円、リース債務の返済による支出が118,846千円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

わが国経済については、新型コロナウイルス感染症の沈静化に伴い景気の緩やかな回復が続くことが期待される一方、エネルギー価格の高騰や円安に伴う物価高が進んでおり、先行きは予断を許さない状況が続くものと予想されます。当社の属する駐車場業界においては、コロナ禍からの緩やかな持ち直しが続き、国内外からの観光需要も回復してきており、売上高はコロナ禍と比較し全国的に改善が見られております。

このような状況のもと、当社は営業のサポートを担う人員を強化して、引き続き積極的な営業活動を行い、事業地数を増やすとともに、既存の駐車場・駐輪場については、収益改善施策を継続的に実施することで採算性向上に努めてまいります。今後につきましても、駐車場・駐輪場の売上高は堅調に推移すると見込んでおりますが、一方で当事業年度実施予定としていた新五百円硬貨や新紙幣への対応、通信ユニットの交換などによる大規模な駐車場機器部品の修繕・入替の費用90,000千円が、半導体不足による部品供給遅延の影響で翌事業年度へ繰り越されることとなりました。

そのため、翌期（2025年3月期）の業績予想数値につきましては、売上高は5,678,532千円、営業利益は445,710千円、経常利益は513,432千円、当期純利益は309,671千円を予想しております。

また、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,711,204	2,215,873
売掛金	75,277	109,015
貯蔵品	18,727	18,252
前払費用	235,593	265,604
その他	97,581	91,409
貸倒引当金	△ 2,962	△ 144
流動資産合計	2,135,423	2,700,010
固定資産		
有形固定資産		
建物	158,919	145,470
減価償却累計額	△ 77,776	△ 56,438
建物（純額）	81,143	89,032
構築物	1,032,545	906,093
減価償却累計額	△ 675,405	△ 542,966
構築物（純額）	357,140	363,126
車両運搬具	38,074	37,907
減価償却累計額	△ 38,010	△ 37,651
車両運搬具（純額）	64	256
工具、器具及び備品	611,094	534,370
減価償却累計額	△ 528,218	△ 452,495
工具、器具及び備品（純額）	82,875	81,874
土地	51,400	51,400
リース資産	722,084	480,468
減価償却累計額	△ 441,654	△ 256,650
リース資産（純額）	280,429	223,817
有形固定資産合計	853,053	809,509
無形固定資産		
ソフトウェア	11,747	2,467
無形固定資産合計	11,747	2,467
投資その他の資産		
投資有価証券	5,856	6,512
関係会社株式	11,600	11,600
出資金	160	160
破産更生債権等	628	3,940
長期前払費用	1,959	2,040
繰延税金資産	101,056	91,010
貸倒引当金	△ 628	△ 3,940
その他	219,508	250,335
投資その他の資産合計	340,140	361,658
固定資産合計	1,204,941	1,173,634
資産合計	3,340,365	3,873,644

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当事業年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,134	108,289
1年内返済予定の長期借入金	561,331	664,328
リース債務	125,143	85,424
未払金	106,929	133,129
未払費用	32,837	33,414
未払法人税等	179,368	85,520
未払消費税等	61,755	44,298
契約負債	23,125	17,443
預り金	22,903	17,701
前受収益	-	20,277
賞与引当金	83,972	76,800
その他	21,653	13,189
流動負債合計	1,280,154	1,299,816
固定負債		
長期借入金	1,132,307	1,274,366
リース債務	162,800	144,209
資産除去債務	196,854	199,066
その他	22,011	22,491
固定負債合計	1,513,972	1,640,133
負債合計	2,794,127	2,939,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	9,501	9,501
その他利益剰余金	439,041	825,840
繰越利益剰余金	439,041	825,840
利益剰余金合計	448,542	835,341
株主資本合計	548,542	935,341
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△ 2,304	△ 1,646
評価・換算差額等合計	△ 2,304	△ 1,646
純資産合計	546,237	933,694
負債純資産合計	3,340,365	3,873,644

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	4,601,174	5,070,445
売上原価	3,060,796	3,319,843
売上総利益	1,540,377	1,750,602
販売費及び一般管理費	1,091,923	1,162,271
営業利益	448,454	588,330
営業外収益		
受取利息	17	17
受取配当金	1,597	63
受取保険金	27,988	22,411
受取保証料	1,624	5,769
その他	5,017	11,380
営業外収益合計	36,246	39,643
営業外費用		
支払利息	22,373	22,827
和解金	3,000	2,809
その他	3,429	877
営業外費用合計	28,803	26,514
経常利益	455,897	601,459
特別利益		
固定資産売却益	129	-
特別利益合計	129	-
特別損失		
減損損失	49,037	39,988
特別損失合計	49,037	39,988
税引前当期純利益	406,989	561,470
法人税、住民税及び事業税	160,637	164,624
法人税等調整額	△32,936	10,046
法人税等合計	127,700	174,671
当期純利益	279,288	386,799

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備 金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計	
当期首残高	89,600	-	-	-	11,901	247,752	259,653	349,253
当期変動額								
準備金から資本金 への振替	10,400			-	△ 10,400		△ 10,400	-
剰余金の配当				-	8,000	△ 88,000	△ 80,000	△ 80,000
当期純利益				-		279,288	279,288	279,288
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)				-			-	-
当期変動額合計	10,400	-	-	-	△ 2,400	191,288	188,888	199,288
当期末残高	100,000	-	-	-	9,501	439,041	448,542	548,542

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	△ 2,920	△ 2,920	346,332
当期変動額			
準備金から資本金 への振替		-	-
剰余金の配当		-	△ 80,000
当期純利益		-	279,288
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	616	616	616
当期変動額合計	616	616	199,905
当期末残高	△ 2,304	△ 2,304	546,237

当事業年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本							株主資本 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備 金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備 金	その他利 益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余 金合計	
当期首残高	100,000	-	-	-	9,501	439,041	448,542	548,542
当期変動額								
当期純利益						386,799	386,799	386,799
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)								
当期変動額合計						386,799	386,799	386,799
当期末残高	100,000	-	-	-	9,501	825,840	835,341	935,341

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	評価・換算差額等合 計	
当期首残高	△2,304	△2,304	546,237
当期変動額			
当期純利益			386,799
株主資本以外の項 目の当期変動額 (純額)	657	657	657
当期変動額合計	657	657	387,456
当期末残高	△1,646	△1,646	933,694

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度	当事業年度
	(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	406,989	561,470
減価償却費	287,346	251,750
固定資産売却損益 (△は益)	△ 129	-
固定資産除却損	73,698	96,645
減損損失	49,037	39,988
賞与引当金の増減額 (△は減少)	18,481	△ 7,172
受取利息及び受取配当金	△ 1,615	△ 81
支払利息	22,373	22,827
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,702	494
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 17,024	△ 33,738
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 8,977	△ 5,224
前払費用の増減額 (△は増加)	△ 25,812	△ 28,400
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 3,234	△ 17,456
仕入債務の増減額 (△は減少)	11,071	47,155
契約負債の増減額 (△は減少)	19,263	△ 5,682
未払金の増減額 (△は減少)	12,351	19,324
未払費用の増減額 (△は減少)	5,765	559
預り金の増減額 (△は減少)	△ 2,938	△ 5,201
その他	△ 13,480	31,969
小計	835,867	969,228
利息及び配当金の受取額	1,614	80
利息の支払額	△ 22,318	△ 22,847
法人税等の支払額	△ 91,148	△ 259,534
営業活動によるキャッシュ・フロー	724,016	686,927
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△ 85,825	△ 209,000
定期預金の払戻による収入	40,575	168,000
有形固定資産の取得による支出	△ 198,132	△ 248,669
有形固定資産の売却による収入	287	-
無形固定資産の取得による支出	△ 1,488	-
関係会社株式の取得による支出	△ 9,600	-
保険積立金の積立による支出	△ 26,233	△ 30,938
敷金及び保証金の差入による支出	△ 20,644	△ 4,618
敷金及び保証金の回収による収入	9,000	7,901
資産除去債務の履行による支出	-	△ 28,077
その他	5,873	1,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 286,188	△ 343,468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	600,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△ 625,676	△ 654,944
リース債務の返済による支出	△ 152,411	△ 118,846
配当金の支払額	△ 80,000	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 258,087	126,209
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	179,740	469,668
現金及び現金同等物の期首残高	1,338,460	1,518,201
現金及び現金同等物の期末残高	1,518,201	1,987,869

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は時間貸し駐車場・駐輪場の開拓と運営管理に関する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	681.09円	699.92円
1株当たり当期純利益	348.24円	320.71円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	209.36円	-

(注) 1. 当事業年度末の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当事業年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益金額(千円)	279,288	386,799
普通株主に帰属しない金額 (千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	279,288	386,799
普通株式の期中平均株式数(株)	802,000	1,206,087
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	532,000	-
(うち新株予約権(株))	-	-
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	-	-

(注) 当社は、2023年11月2日付で普通株式1株につき2,000株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。